

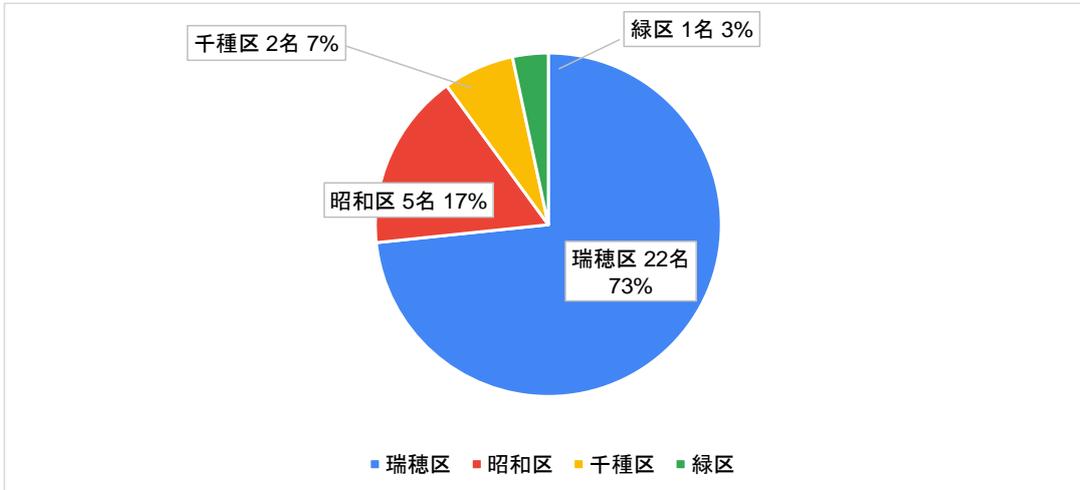
令和7年度 瑞穂区多職種連携研修会 被災地支援経験者から学ぶ災害時の在宅療養者支援 アンケート結果

日時：令和7年11月15日(土) 14:30~16:30

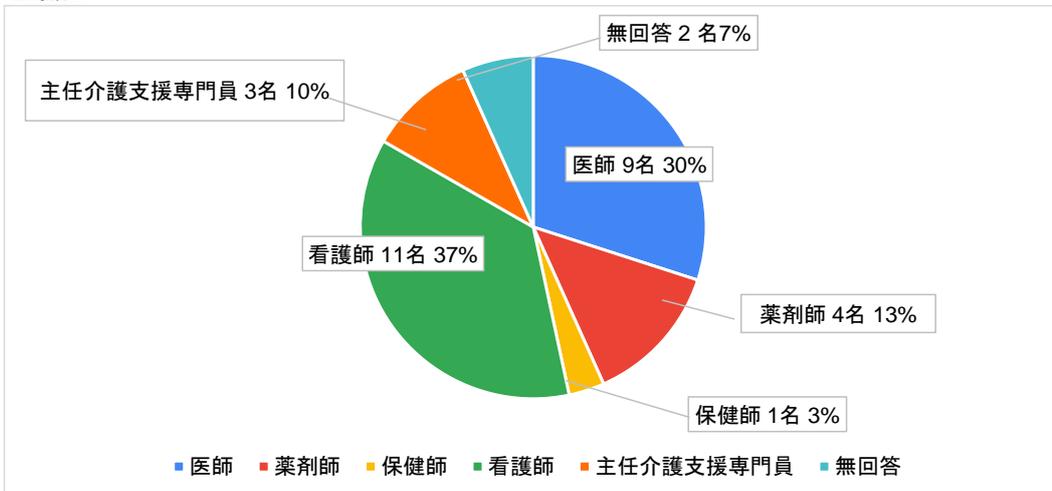
場所：名古屋市立大学 医学部研究棟11階 講義室B

アンケート回収率：75% (アンケート記入者30名/参加者40名)

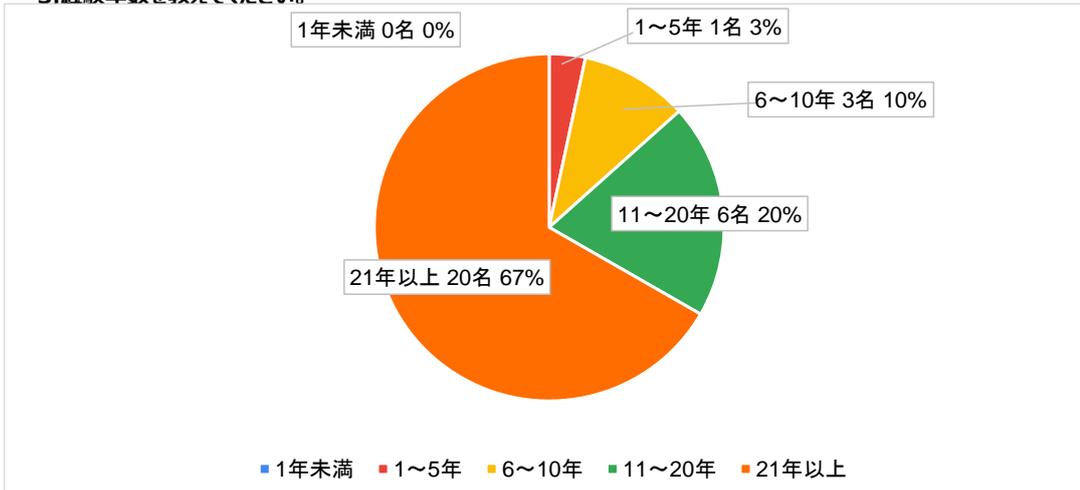
1. 職場所在地



2. 職種

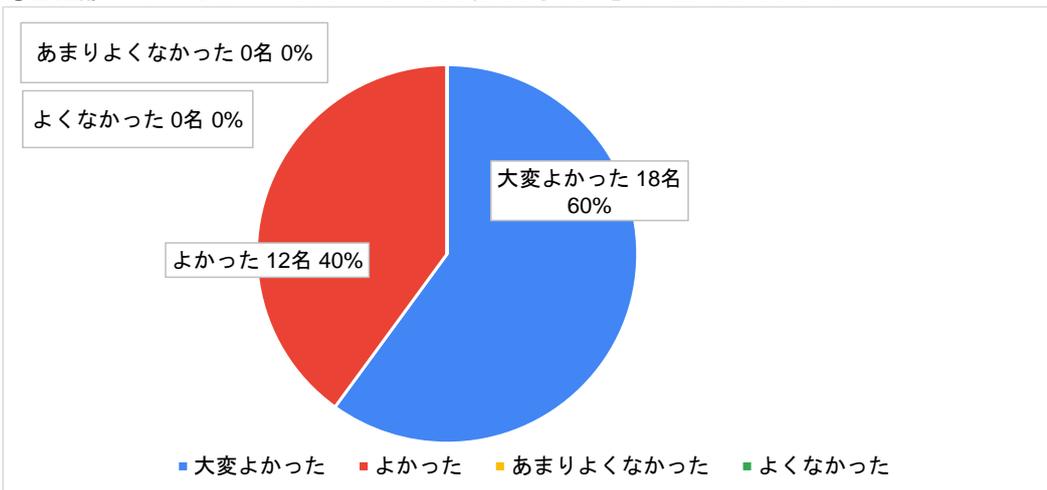


3. 経験年数を教えてください。



4. 本日の研修についてお答えください。

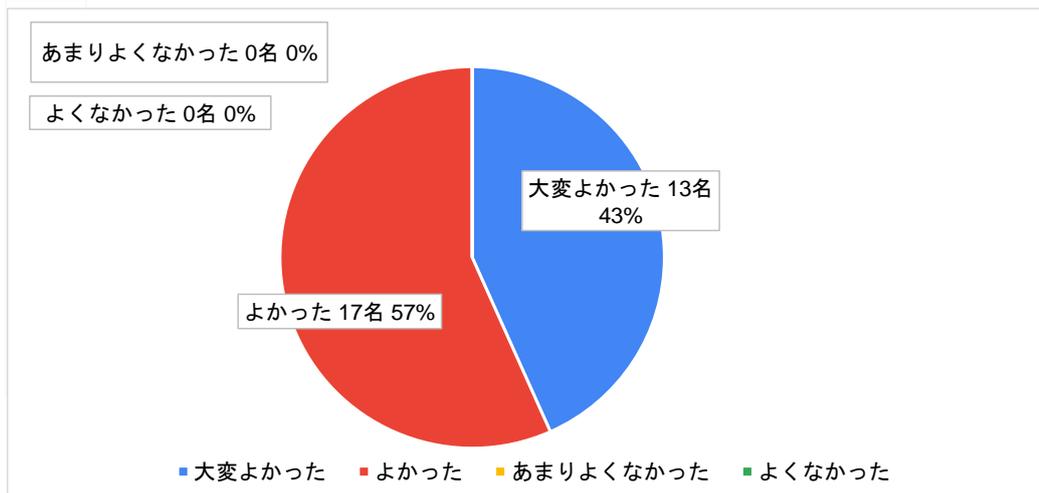
①【第1部：シンポジウム ～現場のリアルと今できる備えを考える～】の内容はどうでしたか？



①の理由をご記入ください

- ・ 具体的な提案があった
- ・ 画像が多く実際の状況が分かりやすかった
- ・ 写真からも実際の状況の理解がしやすかった。JMATで活動された西村先生・近藤先生が瑞穂区におられる事で安心が得られた。具体的活動が理解できました。公助について、災害スイッチについてよく理解できた
- ・ 貴重な体験談を聞くことができた。考えるきっかけができた
- ・ 実際に支援に行かれた方のお話は大変参考になりました
- ・ 災害現場の実際を知ることができたので貴重な情報でした
- ・ 現場でのリアルな様子を知ることが出来た
- ・ 被災時のリアルな状況を知ることができ有益でした。何が必要なのか再確認できました。水、トイレが重要
- ・ 現場のリアルを実際にスライドで見ることができ災害時の大変さを実感した
- ・ 実際の体験をもとに写真などもありわかりやすかった(今までは想像がつかなかった)。シミュレーションが大事だと再確認できた
- ・ 能登半島地震の支援に行かれた方の生の声が聞けて参考になった
- ・ 能登半島地震への救護活動も含めて、名古屋市の取り組みなど具体的に情報を得ることができてよかった
- ・ 大久保先生の話をもっと聞きたかったです
- ・ 大久保先生のお話、とても分かりやすかったです。また、指定避難所についてもわかりやすく参考になり、自分が今何をすべきか少し見えてきた気がします
- ・ ケアマネとしてご利用者様の安全確保はもちろんだが、まずは自分自身の安全確保が必要であることを再認識した
- ・ 備えるべき具体的な事項がわかったため
- ・ 「被災地支援経験者から学ぶ在宅療養者支援」の要素が薄かった
- ・ 様々な方面からの災害のとらえ方を学ぶことができた
- ・ 帰宅困難者もいるので避難所は大変

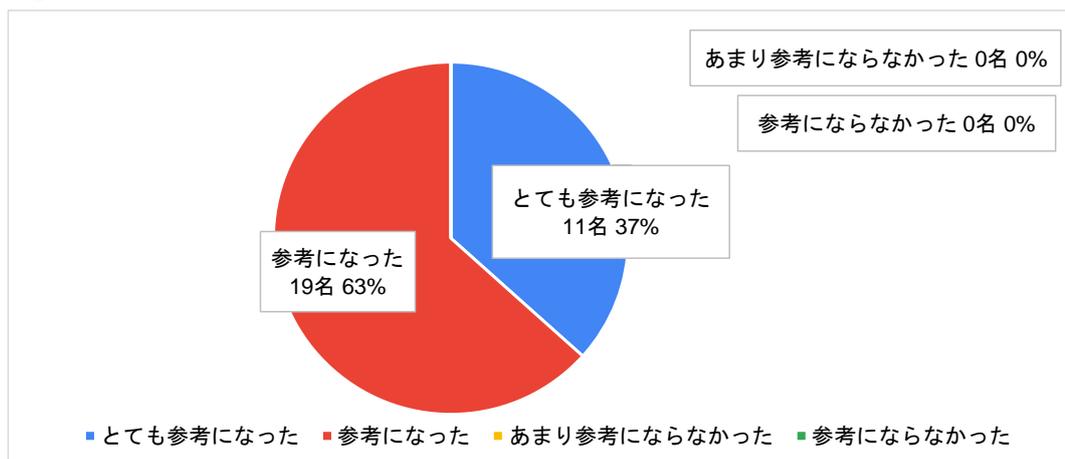
② 「第2部：ディスカッション・質疑応答」の内容はどうでしたか？



②の理由をご記入ください

- ・ 質問に対する回答が明確でよく理解できた。支援物資は3日分あるがおそらく足りないことが確認できました
- ・ 皆同じような疑問を持っていることが分かった
- ・ 具体的に聞きたいことが学べた
- ・ 内容の理解が深まった
- ・ もう少し時間が必要だったように感じます
- ・ もっと聞きたかったです

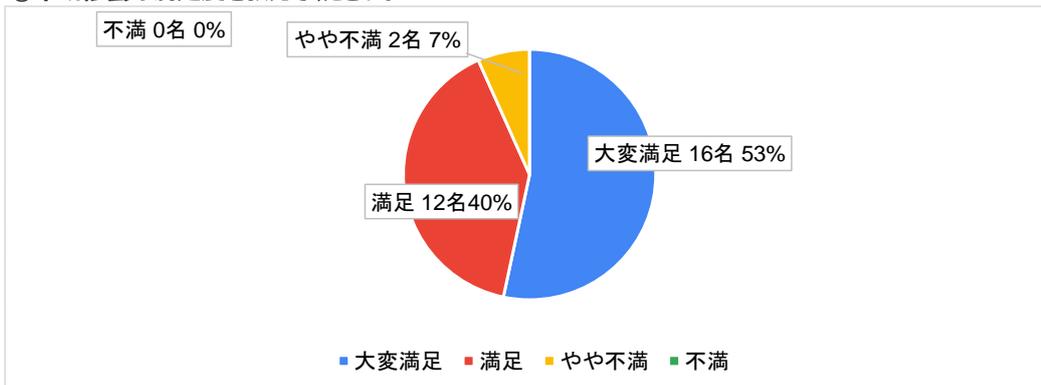
③今後の業務の参考になりましたか？



③の理由や今後に活かせそうな点をご記入ください。

- ・ BCPの継続
- ・ 今後シミュレーションします
- ・ 意思決定のプロセスについて。無限後退を断ち切ることの重要性
- ・ 大久保先生と近藤先生のお話内容が深く心に残りました
- ・ BCP計画の見直し、平時からの準備に参考にさせていただきます。まずは自分の身を守ることが大事。今できる事から少しずつ考えていきたい
- ・ 災害時BCPの見直し。水・トイレの備蓄についての再確認。
- ・ 水・トイレの備蓄とBCP策定の具体的な話が勉強になりました
- ・ 現在BCPに対する看護研究を行っている段階なのでとても参考になった
- ・ BCPの見直し基準など改めて確認することができた
- ・ 災害スイッチONについて・ハザードマップを読み解く
- ・ 災害スイッチをONにするタイミングを考えていきたいと思います
- ・ ステーションで今やるべきことが少し見えました
- ・ BHELPに参加してみたいと思う

④ 本研修会の満足度を教えてください。



④の理由や特に印象に残った内容があればご記入ください。

- ・ 自身の事として考えたい
- ・ 能登半島地震についてニュースで知っているつもりだったが、現場での状況を聞き何も知らないと思った。貴重な情報をいただけたと思う
- ・ 大久保先生と近藤先生のお話が業務に近くとても興味深く聞いた
- ・ どうなったら災害スイッチをONにするか決めていきたいと思います
- ・ 災害時にどのようなことが想定されるか考えているが、それをどのように解決するか、できるのか
- ・ 閉会挨拶の話も参考になりました

5. 災害時に在宅療養者を支えるうえで課題と感じていることがありましたら教えてください。

- ・ 安否確認後、在宅療養者に問題が生じた場合どこに連絡すべきかわからない
- ・ 緊急連絡先がしっかり把握できていない
- ・ 水の確保
- ・ 自分の命が大切であるが目の前の利用者を置いて避難するのは少しだけためられる
- ・ お金。支払いや負担割合等はどうに確認されているのか自分でも勉強してみたいと思う
- ・ モバイル機器の操作・利用が不得意です。その中でどう連絡・情報を受けるのかが課題に感じています
- ・ 災害時の情報収集や連携ができるための体制を整えることは一番重要であるが、個々(利用者や職員)の通信が途絶えることのない対策を整えていくことは重要であると思います
- ・ 災害時の人手不足の状況で通常業務が優先される中で在宅療養者の状況確認や在宅訪問できる状況になるか分からなくて不安になる
- ・ 小さなお子さんのいるスタッフが出れなくなったことでの人員減少でどこまで対応出来るのか
- ・ 職種間・多職種連携。想定外を想定する。
- ・ 個別避難計画の作成が進まない。作っても訓練及び修正ができない。そういった活動のリーダーシップを誰がとっていくのかわからない(現場の気づき頼りになっている気もする)

6. その他ご意見、ご感想、ご要望などございましたらお聞かせください。

- ・ 災害時には医療者であり被災者とのことですが、自宅で被災した場合と職場で被災した場合にどのような備えをしておけばよいか知りたいです
- ・ 災害時の対策について改めて水・トイレの必要性を感じた。周りにも伝え準備内容を確認しようと思った
- ・ BHELPの研修があることを知れたのでぜひ受講したいと思いました
- ・ 研修会のシリーズ化をお願いします